

「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会」から生まれた本

病いによってどう生活が変わり、どんな困難に直面するのか？

ちゅう ひ しゅ

中皮腫とともに生きる

希少・難治性がん患者と家族の26の「ものがたり」

四六判並製 232頁

定価：本体2000円＋税（税込2200円）

7月上旬刊

北星学園大学教授

大島寿美子編

ISBN978-4-909281-42-5 C0047

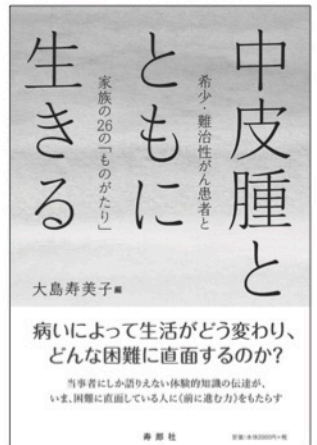
2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる時代。

本書は5年生存率が一割程度という

希少・難治性のがんになった人々の体験的知識を伝達する本です。

26人の患者・家族の「ものがたり」が、

いま、困難に直面している人に《前に進む力》をもたらします。



発行 寿郎社

〒060-0807

札幌市北区北7条西2丁目37山京ビル

TEL 011-708-8565

FAX 011-708-8566

E-mail doi@jurousha.com

（目次より）

はじめに——希少・難治性がん患者と家族の26の「ものがたり」

I 中皮腫と診断されて

- 1 保育士の仕事と治療の両立……鹿川真弓（沖縄県）
- 2 子どもたちの前では絶対に泣かない……Y・O（静岡県）
- 3 サポートされる側とする側の両方を経験して……原修子（埼玉県）
- 4 中皮腫の仲間たちとともに……右田孝雄（大阪府）
- 5 家族の励ましと社員の頑張りに支えられて……平田勝久（岐阜県）
- 6 がんはハンデじゃない……田中奏実（北海道）
- 7 中皮腫になって得られた出会いと経験……館山亮（北海道）
- 8 医師として働き、患者として助けられて……中島喜章（新潟県）
- 9 功を奏したセカンドオピニオン……山中伸治（東京都）
- 10 この素晴らしい日々が長く続くように……尾上一郎（兵庫県）
- 11 自分が納得できる人生を送れたら……黒木公明（山口県）
- 12 「今はあかん」と誓って生き延びた……田村勝也（大阪府）

II 家族としての思い

- 13 無理せず、のりくらりといきましょう……黒田しげみ（埼玉県）
- 14 患者としてのがん体験から娘としてのがん体験へ……浅原和香子（大阪府）
- 15 四人の子を残して何も言わずに逝った夫……小菅千恵子（埼玉県）
- 16 祈るような思いで寄り添い続けた二年間……後藤里美（愛知県）
- 17 悔いの残らない看病ができた……栗田悦子（群馬県）
- 18 母の死を語ったときによく涙がこぼれた……松島恵一（埼玉県）
- 19 本当の娘のように看病して……松島和枝（埼玉県）
- 20 夫の死から三五年後の公務災害申請……後藤雅子（大阪府）
- 21 ヤンチャな笑顔を守りたくて……福田靖美（兵庫県）
- 22 一人にしないで、一緒に連れて行って……有賀忍（東京都）
- 23 互いへの思いを伝え合って最期を迎えられた……影山小百合（静岡県）
- 24 変化していった夫婦の関係……尾上貴美子（大阪府）
- 25 父の最期を看取って……山田哲也（大阪府）
- 26 無我夢中でサポートして寄り添った日々……内田優子（大阪府）

III 中皮腫の仲間をサポートし続ける……右田孝雄×大島寿美子

おわりに——気持ちの分かち合いと体験的知識の伝達

【編者略歴】

大島寿美子（おおしま すみこ） 1964年東京生まれ。千葉大学大学院理学研究科修了（医学博士）。共同通信、ジャパンタイムズ記者を経て、現在、北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科教授。NPO法人キャンサーサポート北海道理事長。著書に『がんの「語り」——語り手の養成から学校・医療・企業への派遣まで』（共著、寿郎社）、『絆を築くケア技法 ユマニチュード——人のケアから関係性のケアへ』（誠文堂新光社）、『アスベスト禍はなぜ広がったのか——日本の石綿産業の歴史と国の関与』（共著、日本評論社）、編纂に『北海道でがんとともに生きる』（寿郎社）などがある

ご注文は下欄にご記入のうえ中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会まで郵送・FAX・E-mailにて
〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-10-1 Zビル5F 電話 0120-117-554 FAX03-3683-9766 E-mail: info@chuuhihshu-family.net

注文票

『中皮腫とともに生きる』（税込価格2200円）を 冊 注文いたします。

お名前

ご住所

電話番号（ ）